

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 9 月 19 日 (2019.9.19)

【公開番号】特開 2019-80646 (P2019-80646A)

【公開日】令和 1 年 5 月 30 日 (2019.5.30)

【年通号数】公開・登録公報 2019-020

【出願番号】特願 2017-208730 (P2017-208730)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 8 日 (2019.8.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、
設定された設定値にもとづいて遊技者にとっての有利度が異なるように遊技を進行可能な遊技制御手段と、
電力供給の開始に伴い前記設定手段による設定値の変更を許可する変更許可状態に制御可能な設定制御手段と、
電力供給の開始に伴い前記設定手段により設定されている設定値を確認するための設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段と、
演出を実行可能な演出手段と、
電力供給が開始された後、確認演出条件の成立にもとづいて前記演出手段による確認演出の制御を実行可能な確認演出制御手段と、
演出の音量の調整に関する動作を検出可能な調整用検出手段と、
前記調整用検出手段による動作の検出にもとづいて演出の音量を複数段階のいずれかに制御する音量制御手段と、
前記変更許可状態に制御されているときと前記設定確認状態に制御されているときとのそれぞれで、前記調整用検出手段による動作の検出にかかわらず前記音量制御手段による制御の実行を制限する制限手段と、を備え、
前記変更許可状態の制御に関する報知と、前記設定確認状態の制御に関する報知とで共通の音量により報知音が出力され、
前記確認演出制御手段は、
電力供給の開始に伴い前記変更許可状態に制御されないときは、前記確認演出条件の成立によって前記確認演出の制御を実行可能であり、
電力供給の開始に伴い前記変更許可状態に制御されたときは、該変更許可状態が終了した後に前記確認演出の制御を実行可能である
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 2 】

遊技者にとって有利度が異なる複数の設定に変更可能な遊技機や、確認音を出力させる制御を行う遊技機がある（例えば、特許文献 1、特許文献 2 参照）。さらに、リーチ演出の開始時に、リーチ演出の種類を報知するタイトル表示を行う遊技機が提案されている（例えば特許文献 3 参照）。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 3 】

【特許文献 1】 特開 2 0 1 0 - 2 0 0 9 0 2 号公報

【特許文献 2】 特開 2 0 1 6 - 2 2 0 8 3 3 号公報

【特許文献 3】 特開 2 0 1 6 - 1 0 1 4 2 8 号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 4 】

上記遊技機では、多様な楽しみ方を提供するため、設定を変更することがしばしば行われている。しかしながら、設定を変更する作業を行う際に確認用の演出が行われ、円滑に作業が進められないことがあった。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 5 】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、設定値の変更作業に支障が生じること防止できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 6

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 6 】

（ A ）上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、

遊技を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機 1 など）であって、

複数の設定値のうちいずれかの設定値に設定可能な設定手段（例えばステップ S a 1 3 の設定変更処理を実行する C P U 1 0 3 など）と、

設定された設定値にもとづいて遊技者にとっての有利度が異なるように遊技を進行可能な遊技制御手段（例えばステップ S 2 5 の特別図柄プロセス処理を実行する C P U 1 0 3 など）と、

電力供給の開始に伴い前記設定手段による設定値の変更を許可する変更許可状態に制御可能な設定制御手段（例えばステップ S a 6、S a 1 2、S a 1 3 を実行する C P U 1 0

3 など)と、

電力供給の開始に伴い前記設定手段により設定されている設定値を確認するための設定確認状態に制御可能な設定確認制御手段(例えばステップAKS001、AKS002を実行するCPU103など)と、

演出を実行可能な演出手段(例えば演出表示装置5、スピーカ8L、8Rなど)と、

電力供給が開始された後、確認演出条件の成立にもとづいて前記演出手段による確認演出の制御を実行可能な確認演出制御手段(例えばステップ74AKS018の確認演出制御処理を実行する演出制御用CPU120など)と、

演出の音量の調整に関する動作を検出可能な調整用検出手段(例えば出力量切替スイッチ71AK001など)と、

前記調整用検出手段による動作の検出にもとづいて演出の音量を複数段階のいずれかに制御する音量制御手段(例えばステップ71AKS013の開始時出力切替処理やステップ71AKS019の進行中出力変更処理を実行する演出制御用CPU120など)と、

前記変更許可状態に制御されているときと前記設定確認状態に制御されているときとのそれぞれで、前記調整用検出手段による動作の検出にかかわらず前記音量制御手段による制御の実行を制限する制限手段(例えば図20-29の処理の実行中には出力量切替スイッチ71AK001の操作受付無効など)と、を備え、

前記変更許可状態の制御に関する報知と、前記設定確認状態の制御に関する報知とで共通の音量により報知音が出力され(例えば設定変更中報知及び設定確認中報知が最大音量により出力されるなど)、

前記確認演出制御手段は、

電力供給の開始に伴い前記変更許可状態に制御されないときは、前記確認演出条件の成立によって前記確認演出の制御を実行可能であり(例えばステップAKS021、AKS030を実行した後におけるステップ74AKS018の実行など)、

電力供給の開始に伴い前記変更許可状態に制御されたときは、該変更許可状態が終了した後には前記確認演出の制御を実行可能である(例えばステップAKS025~AKS030を実行した後におけるステップ74AKS018の実行など)。

(1)さらに、他の態様に係る遊技機は、

遊技者にとって有利な有利状態(例えば大当り遊技状態)に制御可能な遊技機(例えばパチンコ遊技機1)であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出(例えばリーチ演出)を実行可能な示唆演出実行手段(例えば演出制御用CPU120)と、

前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段(例えば演出制御用CPU120)と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である(例えば図9(D)、(F))。

このような構成によれば、演出効果を高めることができる。